

令和7年度 海外留学経験者追跡調査 報告書

独立行政法人日本学生支援機構

目次

I. 調査概要	3
1. 調査概要	4
<参考> 調査結果の見方	5
<参考> クロス集計結果の見方	6
II. スクリーニング調査結果	7
1. 調査回答者の属性	8
2. 海外滞在の目的	10
3. 留学終了時期	11
4. 留学をしていない理由	12
5. 留学経験に対する考え方	13
III. 本調査結果	14
1. 本調査回答者の属性	15
2. 海外滞在の目的	18
① 留学の実態	
1. 留学終了時期	19
2. 留学回数	20
3. 留学期間	21
4. 留学開始年齢	22
5. 留学中の日本での身分	23
6. 留学動機	24
7. 留学時期・期間選択理由	25
8. 留学した国・地域	26
9. 留学先として検討した国・地域	27
10. 留学先選択理由	28
11. 留学先を検討する際に利用した情報源	29
12. 留学先の学校の種類	30
13. 留学先の学校選択理由	31
14. 学習内容選択	32
15. 語学研修の受講期間	33
16. 専門分野の勉強内容・専攻分野	34
17. 留学での取得資格	35
18. 留学形態	36
19. 在籍コース	37

② 留学前の状況	
1. <留学前> 語学レベル	38
2. <留学後> 語学レベル	39
3. 留学先の学校の入試内容	40
4. 留学前に困ったこと	41
5. 留学前に困ったことへの対策	42
6. 留学準備期間	44
7. 留学先の学校・現地での生活に役立った情報源	45
③ 留学あっせん業者	
1. 留学あっせん団体から受けたサービス	46
2. 留学あっせん団体を使わなかった理由	47
3. 留学あっせん団体のサービスを利用した理由	48
4. 留学あっせん団体に払った総費用	49
5. 留学あっせん団体との契約の状況	50
6. 留学あっせん団体の満足度	51
7. 留学あっせん業許認可の認知状況	52
④ 留学費用	
1. 留学資金調達方法	53
2. 留学総費用	54
3. 申請した奨学金数	55
⑤ 留学中の状況	
1. 現地での住居	56
2. 留学先での悩み・問題	57
3. 留学先での悩み・問題対処方法	58
4. 留学中に心掛けていた・積極的に行っていたこと	60
⑥ アルバイト・インターンシップ	
1. 現地でのアルバイトの内容	61
2. 現地でのインターンシップ経験内容/紹介・システム	62
3. インターンシップの期間/給与の有無/推奨意向	63

目次

⑦ 留学後の状況	
1. 留学期間の短縮・延長	64
2. 留学期間の短縮理由/延長理由	65
3. 留学終了後の進路	66
4. 留学前後の就職活動	67
5. 就職活動の結果	68
6. 就職活動に役立ったこと	69
7. 留学経験の進路決定の影響度	70
8. 留学終了後の悩み・問題	71
9. 留学経験で得たもの	72
⑧ 総合満足度	
1. 現在の仕事・学業と留学中の専攻分野との関連性	73
2. 留学経験の仕事への有益性	74
3. 留学経験で仕事・学業に役立っていること	75
4. 留学後のフォローアップとして希望する情報・サービス	76
5. 留学経験の今後の有益性	77
6. 留学経験が役立たないと思う理由	78
7. 初期の目的や計画の達成度	79
8. 留学の総合満足度	80
9. 留学後の考え方の変化	81
10. 留学意向	82
11. 留学の推奨意向	83
12. 留学後に変化した考え方	84
13. 社会貢献活動などへの参加経験	85
14. 社会貢献活動などへの参加意向	86
⑨ 奨学金の認知状況	
1. 奨学金の認知状況 <聞いたことがある>	87
2. 奨学金の認知状況 <調べたことがある>	88

IV. 調査比較分析	89
1. 留学期間の比較	90
2. 留学開始年齢の比較	93
3. 留学中の日本での身分の比較	94
4. 留学時期・期間選択理由の比較	95
5. 留学動機の比較	97
6. 留学での取得資格の比較	100
7. 留学終了後の進路の比較	105
8. 留学終了後の悩み・問題の比較	107
9. 留学経験の仕事への有益性の比較	109
10. 留学経験の今後の有益性の比較	110

調査概要

1. 調査概要

調査目的	本調査は、独立行政法人日本学生支援機構が、海外留学経験者の実態、留学情報収集の方法、留学後の進路等について重点的に調査を行い、取得したデータを海外留学希望者の留学準備において、また、教育機関・公的機関等による情報提供業務において参考資料として利用することを目的として実施する。 また、本調査の結果の一部については、平成30（2018）年度に実施した同内容の調査結果と比較を行うことで、海外留学及び海外留学経験者に関する動向の把握を行う。
調査地域	全国
調査対象者	スクリーニング調査：20～49歳の日本人 本調査：20～49歳の日本人のうち、過去15年以内に海外留学を経験している者
調査方法	インターネット調査
標本抽出方法	スクリーニング調査：人口構成比に準拠し割当抽出（令和2年国勢調査をベースに人口動態を加味したデータを使用） 本調査：20～40代の委託機関のインターネット登録モニターに対してスクリーニング調査を実施し、条件適合者を選定
サンプルサイズ	スクリーニング調査：10,000サンプル ※実際の回収数は41,816サンプルだが、スクリーニング調査結果では10,000サンプルにランダムカットして示している 本調査：1,097サンプル
調査期間	令和7年12月11日（木）～令和7年12月22日（月） （スクリーニング調査と本調査を同時に実施）
調査内容	スクリーニング調査：9問 本調査：69問

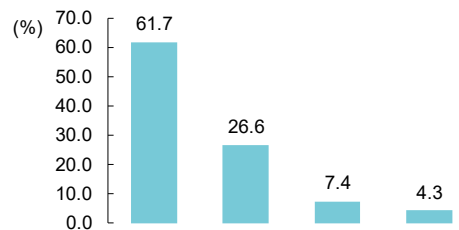
<参考> 調査結果の見方

- 報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問を示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある。
- 調査結果の数値は回答率（％）で示している。％の母数は、その質問の回答数または属性別のTOTAL数で、「n＝」で表している。
- 回答率（％）は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。したがって、回答率の合計値が100.0%にならない場合がある。
- 回答率（％）は回答数「n＝」に占める割合となっている。したがって、複数回答の質問は割合を全て合計すると100.0%を超える場合がある。
- 項目のn数が0の場合、非表示としている。
- n数が30未満の項目も、参考情報として載せている。

<参考>クロス集計結果の見方

- 本報告書におけるクロス集計表の基本的な見方は下記の通り。
- クロス集計の分析軸は、全体の割合と比べて±10ポイント以上差がある箇所を中心にコメントをしている。

【例】Q10 留学した回数をお答えください。



全体=単純集計の値。
各セルの値が高いのか、
低いのかを比べる基準

【分析軸コメント例】

全体と比べて、留学期間が3ヶ月未満の場合、留学した回数は「1回」の割合が高い。

回答数（n数）が30未満の場合は、全体と比べて±10ポイント以上の差があっても参考値扱いとなる。

【全体とのポイント差】

- ・表のセルが のもの… 10以上ポイント差
- ・表のセルが のもの… -10以上ポイント差

全体と比べて、±10ポイント以上の差がある場合に色付けをしている。

	n=	1回	2回	3回	4回以上
全体	1097	61.7	26.6	7.4	4.3
留学期間					
3ヶ月未満	380	80.0	15.3	2.9	1.8
3ヶ月～6ヶ月未満	139	62.6	28.1	7.2	2.2
6ヶ月～1年未満	254	62.2	24.8	7.5	5.5
1年～2年未満	189	44.4	40.7	10.1	4.8
2年～4年未満	91	25.3	45.1	19.8	9.9
4年以上	44	47.7	31.8	9.1	11.4
学習内容					
語学習得のみ	605	70.6	22.0	5.3	2.1
語学+専門	360	48.3	33.9	11.1	6.7
専門分野の学習・研究のみ	132	57.6	28.0	6.8	7.6
取得資格					
準学士学位	36	25.0	30.6	16.7	27.8
学士学位	157	40.8	38.2	12.1	8.9
修士学位	134	26.9	42.5	17.9	12.7
博士学位	79	21.5	36.7	21.5	20.3
専門資格の取得	120	34.2	39.2	12.5	14.2
コースの修了証明書	313	53.7	29.4	10.5	6.4
単位修得証明書	203	60.6	25.6	7.4	6.4
語学スコア・級の取得証明書	157	52.2	27.4	8.9	11.5
その他	4	50.0	50.0	0.0	0.0
特に取得していない	364	82.7	14.3	2.5	0.5
留学形態					
協定留学(大学・大学院・短大等)	369	69.6	22.0	5.4	3.0
協定留学(高校等)	56	57.1	28.6	8.9	5.4
認定留学(大学・大学院・短大等)	163	54.6	33.7	7.4	4.3
認定留学(高校等)	51	35.3	39.2	15.7	9.8
勤務先の派遣	82	43.9	36.6	14.6	4.9
自治体の派遣	21	42.9	33.3	19.0	4.8
個人留学	297	63.6	25.9	5.7	4.7
その他の留学	58	81.0	10.3	5.2	3.4

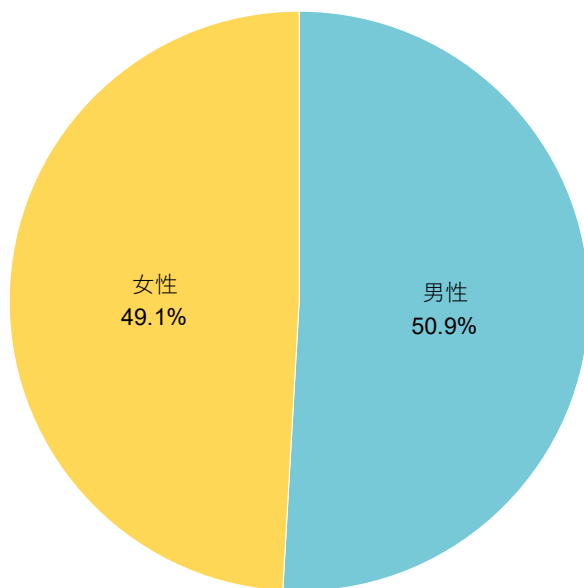
Ⅱ. スクリーニング調査結果

※実際の回収数は41,816サンプルだが、スクリーニング調査結果では10,000サンプルにランダムカットして示している。

1. スクリーニング調査回答者の属性

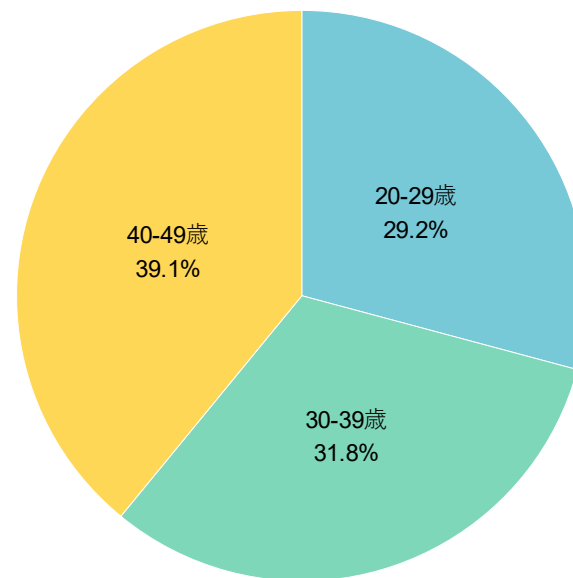
Q1 性別

n=10,000



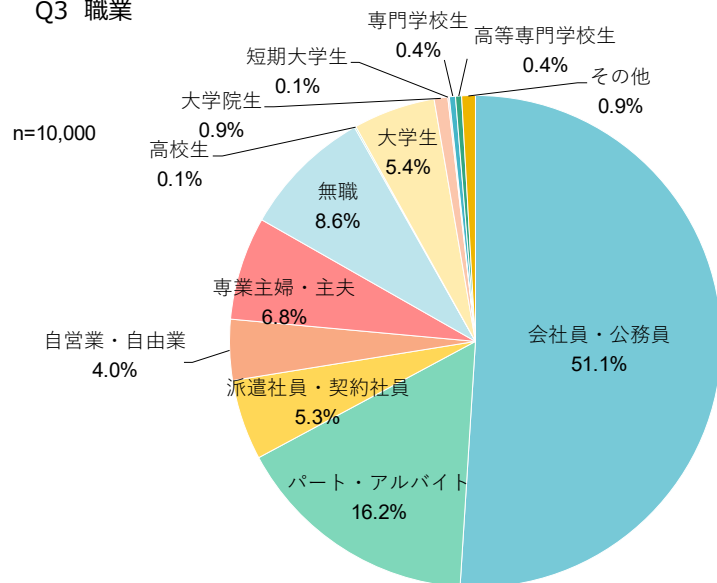
Q2 年齢

n=10,000

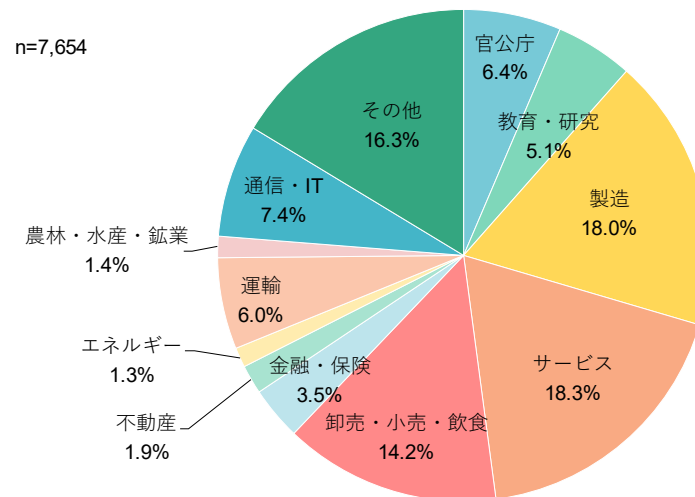


1. スクリーニング調査回答者の属性

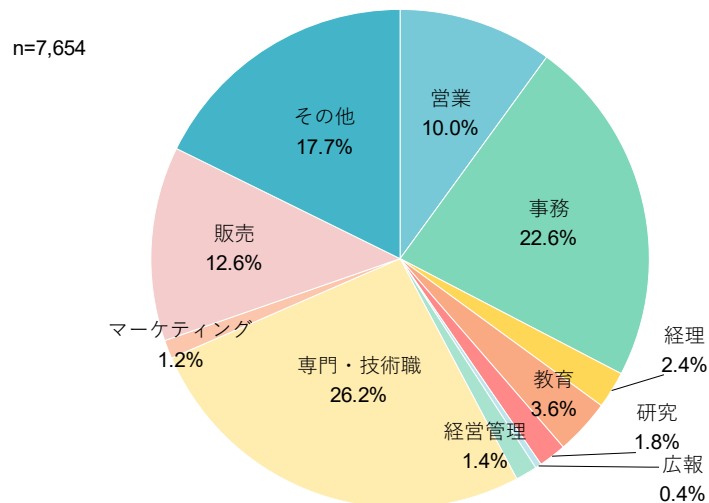
Q3 職業



Q4 業種



Q5 職種

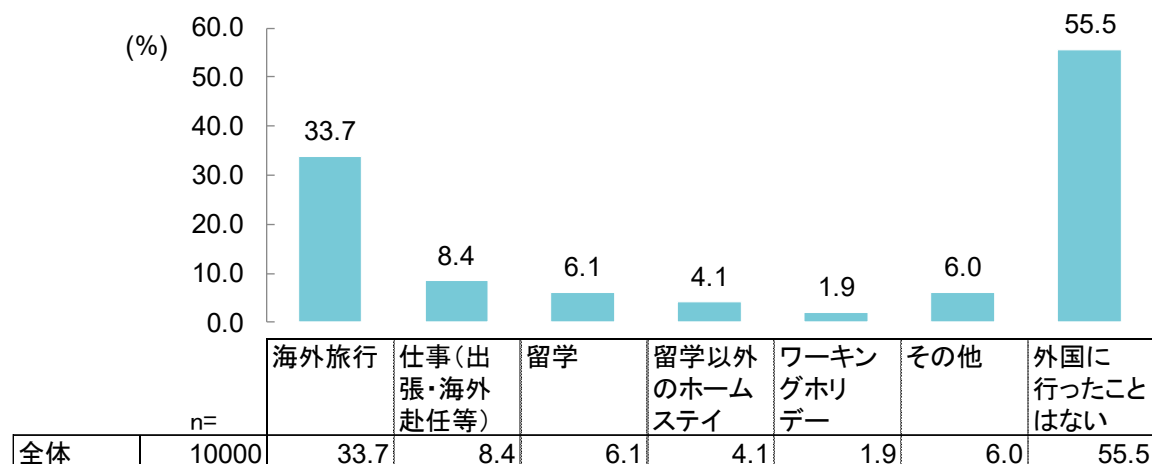


2. スクリーニング調査：海外滞在の目的

- 海外滞在の目的のうち、「留学」は1割弱。

「海外旅行」が最も多く、33.7%。「仕事（出張・海外赴任等）」8.4%、「留学」6.1%が続く。

Q6 以下の目的で外国に行ったことがありますか。あてはまるものを全てお答えください。

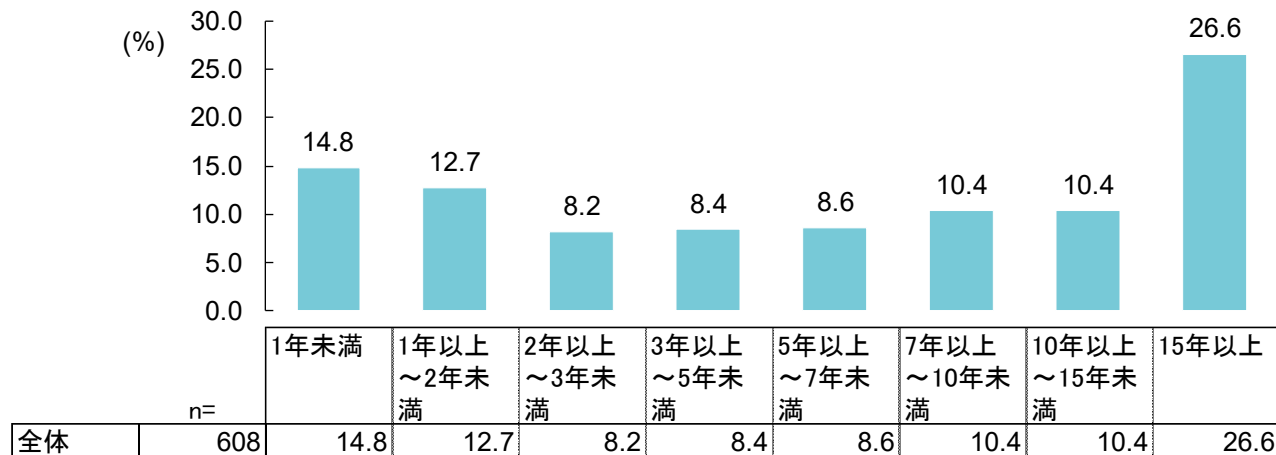


*「海外留学」を「日本以外の国・地域の学校で学ぶことを主目的または目的の一部として渡航し、一定期間滞在して現地の学校に通った経験」と定義する。これ以外の外部的な要因による渡航・滞在は除く。（例：ホームステイ・ワーキングホリデー・インターンシップ・ボランティア・就職・家族の転勤等別目的での滞在、当該滞在中に機会を得て現地の学校に通った経験及び通信教育、研究者としての在外研究機関への派遣等）

3. スクリーニング調査：留学終了時期

- 留学終了時期は、15年未満が7割強。
「15年以上」が最も高く、26.6%。「1年未満」14.8%、「1年以上～2年未満」12.7%が続く。
- 過去15年以内に海外留学を経験している者は4.5%。

Q9 今から何年前に留学を終えましたか。一定期間をにおいて2回以上留学している場合は、最も新しい留学経験についてお答えください。



<参考>

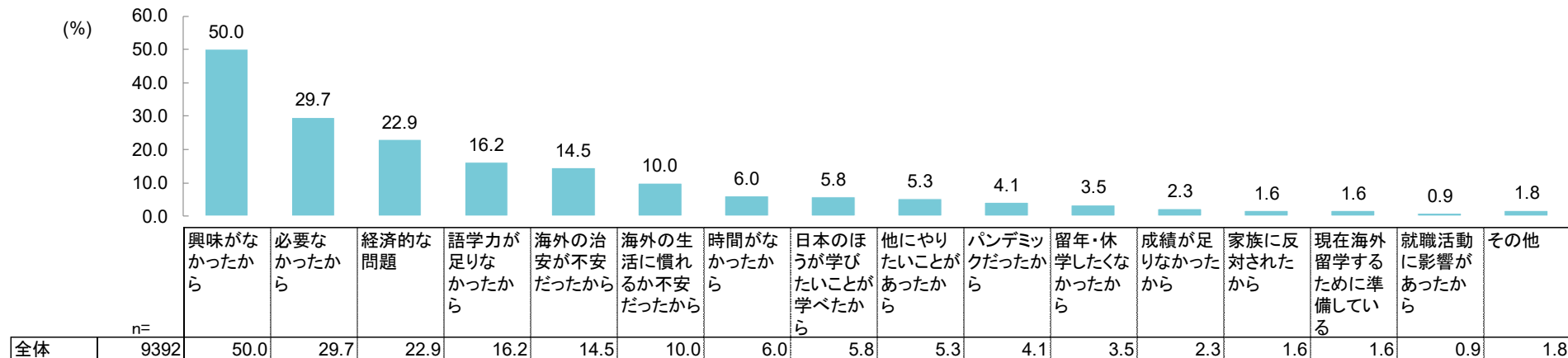
* 留学経験 & 留学終了時期



4. スクリーニング調査：留学をしていない理由

- 留学をしていない理由としては、「興味がなかったから」が半数を占める。
「興味がなかったから」が最も高く、50.0%。「必要なかったから」29.7%、「経済的な問題」22.9%が続く。

Q7 海外留学をしたことがない人に伺います。これまで海外留学をしていない主な理由を3つまでお答えください。



5. スクリーニング調査：留学経験に対する考え方

- 海外留学を経験したほうがよかったと考えている人は約3割。

「したほうがよかった」9.6%、「ややしたほうがよかった」19.0%をあわせると、留学経験を『したほうがよかった』は28.6%。一方、『しなくてよかった』は27.5%（「ややしなくてよかった」7.8%と「しなくてよかった」19.7%の合計）。

Q8 海外留学をしたことがない人に伺います。海外留学経験についてどう思いますか。

